

2023年6月20日

行きつけの画廊兼コーヒー屋“みるめ”にて、お地蔵様の写真を展示していた。失礼だが特に展示されていた写真そのものにはあまり興味はなかった。お地蔵様の写真を見ていて最近感じていることがある。お地蔵さまもどこかの彫刻家がお顔を掘っているのだらうと思う。

しかしお地蔵様の顔というものはほとんど同じ顔をしていらっしゃる。もちろん作者が故意に顔を替えてある場合もあるが、特に意識していない場合はほとんど同じ顔をしていらっしゃる。いつも作者は変わってもなんで同じ顔を表現してしまうのだらうか？これも昔からよく言われる日本の原風景、原イメージというものなのであらうか？どこか“のぺっと”しているが柔和で、穏やかな顔のように見える。我々日本人の心の中にはこうしたお地蔵様の顔のような平穏な心を持ちたいという希望のようなものがあるのだらうか。つまりもともと心はおのずから性善説を持つっているのだらうかとも思える。

とはいうもの世情は情けない事件ばかりが起きている。改めて人間というものの性善説、性悪説について考えてしまう。歳を重ねた今、私のできることは何なののだらうかと思うと同時に、何もせん方がいいのかとも思ってしまう。